## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5 年 2月 5日

事業所名 縁フォールド明和

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	8	3			広すぎて落ち着かない場面もあるので、 活動に見合ったスペース分けを工夫する
体制	2	職員の配置数は適切であるか	5	5	1		
整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	8	3			出入口のドア付近で足が引っか かり、つまづきや転倒がないように クッション材等でリカバリーする
業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11			毎月、目標を設定 して、評価と改善を 行っている	より具体的な対応策を目標にして チーム力向上に取り組む
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1			
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	11				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか		6	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	2		専門家による研修 を 月2回実施している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	10	1			応用行動分析学を用いた分析により、 子供の気持ちに寄り添った目標を設定する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用し ているか	6	5		専門家による助言 や 書物等を利用して 勉強している	行動の分析シートを利用する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	11			職員一人ひと りが立案する	
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	9	2		日案を作成して、 プログラムを細かく 確認	
な支援の	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成しているか	10	1		心身の状況も十分 に 考慮して臨機応変 に	
提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		支援に必要な情報は 周知、共有。イレギュ ラーな状況にも対応できるよう チームとして取り組んでいる	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか	9	2		もしかしたらと振り返りながら 考えることによって新しいアイデ アを生み出す工夫を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1			より、子とも一人ひとりに奇り添った文援計画を 立案するために達成目標の見直しを行って いく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っているか	8	3			

		,	-	- 1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画しているか	9	2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、該当児童の受け入れはない
<b>国</b> 系数	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか	7	4		
機関や保護者	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか				現在、該当児童の事例はないが、移行する 場合は情報提供の対応を行う
10重	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けているか	4	5	2	もっと積極的な参加と事業所内での発信を行っていく
生う	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7		場の交流のみなので、活動を 一緒に行う機会をつくっていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	10	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	4	7		正しい知識と適切なサポートを計画的に行っていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	9	2		
正生	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか		6	5	会やイベントを開催して、繋がりや 相互の協力関係の配慮をしていく
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか	10	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	11			ブログ、お便り、計画表等での発信の他、公式ラインを使用してより分かり易く伝える
	35	個人情報に十分注意しているか	11			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	11			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか			11	新型コロナウイルス感染症の 影響を受けて計画を実施する ことができなかった

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2	1		公式ラインを使用してより分かり易く伝える
		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	11				
		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1		虐待防止委員会を設 置、事例検討や職員研 修を実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	8	3			保護者と情報の共有を行っているが、医師の 指示所までは無いので今後必要に応じて提出を 促す
		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	10	1			